



# 町田シティオペラ愛好会〈MCOA〉第17回おさらい会



2015年3月29日(日) 9時45分開場 10時開演 まちだ中央公民館ホール

●指導・指揮・演出 鹿又 透 ●指導 佐野 千春 ●ピアノ 鈴木 架哉子/第一部 深瀬 洋子/第二部・第三部

## 第一部

### ■岡本 真奈

- ・ジャコモ・マイアベーア 作曲 オペラ『ユグノー教』より  
「高貴な貴族の方々に、ごあいさつを」
- ・ベッリーニ 作曲 オペラ『カプレーティとモンテッキ』より  
「清らかな魂よ」

### ■植木 武裕

- ・勝田香月 作詞 杉山長谷夫 作曲 「出船」
- ・北原白秋 作詞 山田耕筰 作曲 「六騎」
- ・北原白秋 作詞 平井庚三郎 作曲 「あの子この子」

### ■佐藤 初代

- ・石川啄木 作詞 越谷達之助 作曲 「初恋」
- ・サンサーンス 作曲 オペラ『サムソンとデリラ』より  
「愛の神よ！私を助けにきておくれ」

## 《多摩オペラ研究会》

モーツァルト作曲 オペラ『フィガロの結婚』より

### ○5番

スザンナ 奥村 友子  
マルチェリーナ 片山 直子

### ○7番

スザンナ 奥村 友子  
ケルビーノ 瀬東 和代  
伯爵 竹尾 信吉  
バジリオ 菊池 大翼

### ○16番

スザンナ 八木 もとみ  
伯爵 竹尾 信吉

### ○20番

伯爵夫人 片山 直子  
スザンナ 伊藤 美穂

### ○5番

スザンナ 瀬東 和代  
マルチェリーナ 八木 もとみ

## 第二部

モーツァルト作曲 オペラ『フィガロの結婚』より

### ○10番~12番

伯爵夫人 柏原 登希子  
スザンナ 大村 真紀  
ケルビーノ 小林 由季

### ○13番

伯爵夫人 原田 陽子  
スザンナ 浜田 直美  
伯爵 竹尾 信吉

### ○13番

伯爵夫人 辻本 和美  
スザンナ 木宮 千絵  
伯爵 小林 祐太

### ○10番~12番

伯爵夫人 鳥海 真由  
スザンナ 山田 望美  
ケルビーノ 小林 由季

### ○13番

伯爵夫人 鳥海 真由  
スザンナ 大村 真紀  
伯爵 寺西 丈志

## 第三部

ロッシーニ作曲 オペラ『チェネントラ』より

良く知られているシンデレラのお話。場面は、ドン・マニフィコの邸宅。ポロを着たチェネントラは、わがままな二人の姉(クロリンダ、ティスベ)にこき使われる毎日。ある朝、乞食に扮した哲学者アリドーロ(王の使い)が邸宅を訪れる。二人の姉は追い払おうとするが、チェネントラはパンとコーヒーを恵む。そこへラミーロ王子の使者たちが現れ、王子が花嫁を探しているの、娘たちを宮殿に招待すると伝える。

○チェネントラ 柏原 登希子  
クロリンダ 浜田 直美  
ティスベ 原田 陽子  
アリドーロ 竹尾 信吉

○チェネントラ 柏原 登希子  
クロリンダ 辻本 和美  
ティスベ 木宮 千絵  
アリドーロ 寺西 丈志

～ モーツァルト作曲 オペラ「フィガロの結婚」 あらすじ ～

舞台は18世紀半ばのスペイン郊外にあるアルマヴィーヴァ伯爵の屋敷。今日は伯爵の家来フィガロと、伯爵夫人の女中スザンナの結婚式の日。

<1幕>

フィガロは朝から上機嫌！伯爵から賜った部屋に二人のためのベッドが入るかどうかルンルンと図っていると、スザンナから「私に気がある伯爵が、一度廃止した初夜権（領主が花婿より先に花嫁と一夜を共にする権利）の復活を企んでいる」と聞き大ショック！なんとか伯爵の悪事を阻止しようと決心する。

一方、女中頭のマルチェリーナは、「借金を返せなかったら結婚すること」という証文をたてに年甲斐もなくフィガロとの結婚をまくろみ、医師バルトロに協力を依頼。バルトロはフィガロへの過去の恨みを晴らす機会だと快諾する。

部屋で居合わせてしまったマルチェリーナを追い出したスザンナのもとへ（5番）、小姓ケルビーノがやってくる。昨日バルバリーナとの逢引が伯爵に見つかり、クビにされてしまったため、伯爵夫人へのとりなしを頼みに来たのだ。そこに、伯爵がスザンナを口説きにやってくる。さらに音楽教師のバジリオも現れ、現場は大混乱！ソファにケルビーノが隠れているのを見つけた伯爵はケルビーノに軍隊行きを命ずる。（7番）

<2幕>

一人で迎える朝が続く伯爵夫人の部屋。（10番）伯爵夫人とスザンナに、フィガロがある提案をする。それは、「伯爵夫人が他の男と逢引きしている」という手紙を伯爵に渡し、嫉妬に狂っている間にスザンナとの結婚式をしてしまい、しかも！スザンナには伯爵との逢引きを約束させ、代わりに女装させたケルビーノを行かせ、伯爵夫人がその現場を捉えてお灸を据えるというもの。早速女装するためにフィガロに連れてこられたケルビーノ。（11番）だが身体と心は密かに思いを寄せる伯爵夫人のほうへ。（12番）やがて伯爵夫人とケルビーノが二人きりになると、何やら妖しい雰囲気…。

そこへフィガロが仕組んだ手紙を読んだ伯爵が嫉妬にかられて登場。夫人は大慌てでケルビーノを衣装部屋へ匿う。「衣装部屋に愛人がある」怒り狂う伯爵と、なだめつつシラを切る夫人。（13番）伯爵が工具で衣装部屋のドアをこじ開けようとする、中から出てきたのはスザンナ！なぜ…？！

一気に形成逆転の伯爵夫人は、伯爵を責め立て、伯爵は一転許しを請う状況に。夫人とスザンナは、うっかり手紙はフィガロが書いたと伯爵にばらしてしまう。と、そこへフィガロが登場。伯爵が手紙のことを聞いてもフィガロはシラを切り通す。ところがアントーニオが「窓から男が落ちてきた」と訴えにきた！伯爵の疑いが再燃するが、このピンチをフィガロ、伯爵夫人、スザンナの機転と連携プレーで乗り切る。

ホッとする間もなく、今度は三馬鹿トリオ（マルチェリーナ、バルトロ、バジリオ）が、「借金を返さないならマルチェリーナと結婚を」と乗り込む。ほくそ笑む伯爵、悔しがるフィガロ、スザンナ、夫人。大混乱のうちに幕を閉じる。

<3幕>

伯爵の部屋。伯爵が一連の出来事をいぶかしんでいると、スザンナがやってくる。そしてなんと、スザンナが逢引きに応じると言うではないか！？喜びいっぱい、有頂天の伯爵だが、実はこれは、「夫の愛を取り戻してみせる」と決意した伯爵夫人が考えた新たな計画。それは、スザンナが逢引きに応じるとおぼせておいて、現場にはスザンナに扮した伯爵夫人が行くというものなのだ。

（16番）一方、フィガロは裁判で今にもマルチェリーナと結婚させられそうになっていた。ところが、そこで衝撃の事実が判明する…！！状況は一転、フィガロはスザンナと無事結婚式を挙げることになった。喜びあふれる結婚式の最中、スザンナは伯爵夫人と二人で書いた逢引きのための手紙（20番）をそっと伯爵に渡すのだった。

<4幕>

夜の屋敷内の森。バルバリーナから伯爵とスザンナが逢引する話を聞き出したフィガロは大激怒！二人の逢引の待ち合わせ場所へ向かう。一方スザンナと伯爵夫人は、伯爵夫人の計画に沿ってお互い衣装交換をして準備万端、伯爵は二人の思惑通り伯爵夫人をスザンナだと勘違いし、でれでれと口説き東屋へ入っていく。フィガロがその現場を押さえようとする、伯爵夫人に扮したスザンナが止めに入る。声でスザンナだと見抜いたフィガロは仕返しにと逆に「奥様、私たちも…！！」と口説き返す。スザンナは怒り嘆くが、種明かしされて二人は仲直り。そこへ伯爵がスザンナを探しに戻ってきて、伯爵夫人とフィガロが逢引していると勘違いする。怒った伯爵は皆を集め責め立てようとするが、奥から本物の伯爵夫人が現れる。全てを理解した伯爵は伯爵夫人に許しを請い、伯爵夫人も広い心でそれを受け入れ、幕となる。